

共に創る
とちぎの未来



栃木県職員募集案内2023



撮影場所: 栃木県公館

ホームページはこちら



知事メッセージ

栃木県は、四季折々の美しい自然、世界遺産「日光の社寺」に代表される歴史と文化、豊富な温泉、美味しい水、そして半世紀以上にわたり生産量日本一のいちごをはじめとする多彩な食など、多くの魅力にあふれています。都心へのアクセスも良く、農業や畜産業が盛んである一方、「ものづくり県」でもあるなど、多様な産業がバランス良く発展しており、一人当たりの県民所得は全国第4位という実力も併せ持っています。

現在県では、「とちぎ未来創造プラン」に掲げた本県の将来像「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」を実現するため、若者や女性が働きやすい環境づくりや安心して子育てができる魅力ある地域づくりをはじめとした、各種プロジェクトを積極的に展開しています。

また、令和5(2023)年は、明治6(1873)年に栃木県が誕生してから150年の節目の年であり、6月には我が国で初めてとなるG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が本県で開催されるなど、これまでの歴史を継承しながら、これからの時代に「とちぎ」の名を新たに刻む年となります。

「栃木県職員ガイド」は、栃木県の魅力・実力に更なる磨きをかけるために活躍している職員を紹介することで、県職員を目指している方・関心のある方に、その業務等について理解を深めていただくために作成したものです。

社会が大きく変化する中、時代の潮流を的確に捉え、デジタル技術も有効に活用しながら課題解決や魅力向上を図り、未来に誇れる「新しいとちぎ」をつくるためには、チャレンジ精神にあふれ、柔軟な発想を持つ皆さんの力が必要です。ぜひ私たちと一緒に、「とちぎ」の未来をつくりましょう。

令和5(2023)年2月

栃木県知事 福田 富一

栃木県が求める人材

高い意欲と
実行力を備えた
「挑戦する職員」

栃木県職員としての
使命感を持った
「信頼される職員」

県民起点の発想で、
県民と連携協力できる
「協働する職員」

インターンシップ

栃木県では、先輩職員との交流や職場(現場)見学・体験などへの参加を希望する大学生等の受入れを行っています。(令和4(2022)年度はオープンゼミ形式で実施)

県庁を身近に感じ、県の業務や働く環境を理解する上で、またとない機会です。

日程・定員や申込期限など、詳細はこちらをチェック

人事課ホームページ



説明会・トークカフェ情報

人事委員会事務局では、各採用試験等の日程や概要、職種別の業務内容などについての説明会を開催しています。(令和3(2021)年度、令和4(2022)年度はオンライン開催)

また、県職員として働くことに興味・関心がある学生などを対象に、職員と気軽に話すことのできるトークカフェも定期的で開催しています。

開催に当たっては、ホームページやツイッター、インスタグラムなどのSNSでお知らせしています。ぜひチェックしてください!



ホームページ



Twitter



Instagram



栃木県庁の組織

部局ごとの仕事の内容をチェック!

令和5(2023)年4月組織改編

	部局名	仕事の概要
知事 副知事	総合政策部	重要な政策の企画立案や県政の発信、また組織横断的な課題に迅速かつ的確に対応できるよう、県行政の総合調整を行っています。また、市町村を支援する仕事や地域の振興、デジタル化の推進に関する仕事をしています。
	経営管理部	予算の編成や職員に関すること、行政改革の推進、税の徴収、文書や県有財産の管理、デジタル県庁の推進など、県庁の運営に関する仕事をしています。
	生活文化スポーツ部	NPO、若者、外国人等の多様な主体の参画による協働の推進やスポーツ・文化の振興、人権啓発、男女共同参画の推進、消費者保護・交通安全など安全で安心な県民生活の確保の仕事のほか、統計調査に関する仕事をしています。
	保健福祉部	県民の健康づくり、病気の予防や医療に関すること、高齢者・児童・障害者など県民の福祉の向上を図る仕事や生活衛生の向上に関する仕事をしています。
	環境森林部	気候変動対策、大気や水などの地域環境や自然環境の保全、資源循環の推進や、廃棄物対策に関する仕事と、森林づくりや林業・木材産業の振興に関する仕事をしています。
	産業労働観光部	中小企業に対する融資や経営・技術の支援、新規産業の育成や企業誘致の仕事のほか、国際化への対応や観光の振興、産業人材の育成や雇用の確保などの仕事をしています。
	農政部	農業の担い手の確保・育成、園芸生産の拡大、農地等の生産基盤や農村環境の整備のほか、新技術の開発・普及や農産物のブランド力強化など、農業・農村の振興に関する仕事をしています。
	県土整備部	経済の発展や安全安心な暮らしを支えるため、道路を作ったり、河川を管理したりするほか、土地区画整理、公園、下水道整備、公共交通体系の整備など、快適な県土づくりの仕事をしています。
	危機管理防災局	自然災害など防災・危機管理に関する仕事をしています。
	会計局	県公金の出納及び決算、物品の調達・管理及び処分等に関する仕事をしています。
	企業局	水力発電による電力の供給や水道用水・工業用水の供給、産業団地等の造成・分譲など、県民のライフラインや産業インフラ等を支える地方公営企業の仕事をしています。
県議会	議会事務局	予算や条例など県政の重要な事項を決定する本会議や常任委員会等の運営、議事録の作成、議案の調査等に関する仕事をしています。
人事委員会	人事委員会事務局	職員の採用試験、職員の給与等の勧告、職員の不利益処分に関する審査請求等に関する仕事をしています。
監査委員	監査委員事務局	県の財務に関する事務の執行等の監査に関する仕事をしています。
労働委員会	労働委員会事務局	労使間の紛争に対し、公平・中立的な立場から解決を図るための仕事をしています。
公安委員会	警察本部	安全で安心な地域社会をつくるため、犯罪の予防・捜査、交通取締り、運転免許証の交付などの仕事をしています。
教育委員会	教育委員会事務局	県民が生涯にわたって、学校や家庭、地域など様々な場できいきと学ぶことができるよう、教育の推進に関する仕事をしています。
選挙管理委員会		
内水面漁場管理委員会		
収用委員会		

職員数・組織数 (令和4(2022)年4月1日現在)

●職員数

一般行政部門……4,396人
警察部門……3,883人

教育部門……14,844人
公営企業部門……331人

●組織数(知事の事務部局)

本庁……8部2局67課室
出先機関……74

栃木県職員職種一覧

主な職種を掲載しています(掲載していない職種もあります)。

P5.10に掲載	行政 (2,730人)	<p>各種施策の企画立案や、予算編成・執行、庶務などの内部管理業務から、各種事業の推進、県税の賦課徴収、公共事業の用地交渉、許認可などの対外的な業務まで様々な分野で幅広い業務に従事します。</p> <p>主な勤務場所 知事部局・教育委員会事務局・企業局等の本庁各課、出先機関、県立学校</p>	▶外部機関とのリモート会議 	▶観光プロモーション 
P5に掲載	行政(福祉型) (16人)	<p>児童相談所における児童虐待の防止や児童・保護者への支援・指導、健康福祉センターでの生活困窮者等への支援を行うほか、福祉に関する各種施策の企画立案や推進等を行います。</p> <p>主な勤務場所 保健福祉課、高齢対策課、障害福祉課、こども政策課、児童相談所、健康福祉センター</p>	▶福祉に関する相談対応 	▶保護者との面談 
P9に掲載	薬剤師 (90人)	<p>医薬品・医療機器等製造業や薬局などの監視指導、麻薬・覚醒剤の取締り、食品・生活衛生監視、食品・医薬品の検査研究などの業務を行います。</p> <p>主な勤務場所 薬務課、生活衛生課、健康福祉センター、保健環境センター</p>	▶医薬品製造業者の調査 	▶試験研究 
P9に掲載	化学 (116人)	<p>産業廃棄物や気候変動などの環境問題に関する企画立案や指導、水質・大気の常時監視や検査を行うほか、地域企業に密着した各種の研究業務を行います。</p> <p>主な勤務場所 環境森林政策課、気候変動対策課、環境保全課、資源循環推進課、環境森林事務所、保健環境センター、産業技術センター</p>	▶異常水質の調査 	▶分析業務 
P9に掲載	農業 (362人)	<p>農業施策の企画立案、農業の担い手の確保・育成や農地の利用集積、新品種及び農業生産技術の開発などの試験研究のほか、新技術や経営改善の普及指導などを行います。</p> <p>主な勤務場所 農政部各課、農業振興事務所、農業試験場、農業大学校、農業環境指導センター</p>	▶いちごの生育調査 	▶梨(つごり)の海外プロモーション 
P9に掲載	畜産 (65人)	<p>畜産物の生産拡大、流通加工促進、ブランド力強化など、畜産業の振興に関する企画立案や、生産技術指導、試験研究の業務に従事します。</p> <p>主な勤務場所 畜産振興課、農業振興事務所、畜産酪農研究センター</p>	▶畜産農家の肉牛の発育状況確認 	▶研究施設での豚の発育調査 
P6に掲載	林業 (177人)	<p>森林資源を維持し、林業の基盤づくりや県産材の利用促進、しいたけなどの特用林産物生産振興などのほか、貴重な自然環境の保全などの業務を行います。</p> <p>主な勤務場所 環境森林政策課、自然環境課、林業木材産業課、森林整備課、環境森林事務所、林業センター</p>	▶スマート林業技術の普及 	▶災害復旧に向けた測量 
P7.10に掲載	総合土木 (252人)	<p>平成24(2012)年度から、それまでの「農業土木」と「土木」を統合した「総合土木」という区分により採用試験を実施しています。採用された人は、主に下の「農業土木」又は「土木」の業務に従事します。</p> <p>主な勤務場所 主に下の「農業土木」又は「土木」の勤務場所に勤務します</p>		
P7に掲載	農業土木 (89人)	<p>農業の生産性向上や豊かな農業農村空間の形成のため、ほ場整備や農道・農業水利施設の整備保全、農村振興、農村環境整備などの業務に従事します。</p> <p>主な勤務場所 農村振興課、農地整備課、農業振興事務所</p>	▶農業水利施設設備の首上の整備改修 	▶地域資源保全活動(土木)の調査 
P7.10に掲載	土木 (284人)	<p>県土づくりに関する企画や計画策定、許認可等を行うとともに、道路、河川等の社会資本の整備・保全や、これらの施設の維持管理、さらに大雨や地震などの異常気象時の緊急対応も担っています。</p> <p>主な勤務場所 県土整備部各課、土木事務所、公園事務所、下水道管理事務所、企業局</p>	▶スタジアム工事立ち会い 	▶釜川放水路の補修・耐震化 
P7に掲載	建築 (73人)	<p>良質な住まいづくりの推進、建築確認・開発許可の指導等、建築物の耐震化などの業務や、学校・県営住宅の整備、県有施設の長寿命化の企画など、県民生活に密接に係る分野で専門的な技術や知識を生かした業務を行います。</p> <p>主な勤務場所 建築課、住宅課、都市計画課、土木事務所</p>	▶BIMによる設計検討会議 	▶建築工事現場の監督 
P9に掲載	電気 (93人)	<p>公営企業の経営に関する企画立案、発電所や水道施設の設備の設計・施工や運転・保守管理、新規電源開発などのほか、地域企業向けの研究業務、県有施設の営繕業務を行います。</p> <p>主な勤務場所 企業局(電気課、水道課、発電管理事務所、水道事務所)、計量検定所、産業技術センター、建築課</p>	▶発電所タムの監視制御 	▶発電所水車室内の点検 

P8に掲載

機械 (62人)

中小企業等の新製品開発や技術高度化を支援するため、試験研究機関での研究・技術相談等を行うほか、産業技術専門学校において、ものづくり人材の育成を行います。また、県有施設の設備の設計・営繕などを行います。
主な勤務場所 産業技術センター、計量検定所、産業技術専門学校、建築課、企業局(電気課、水道課、発電管理事務所、水道事務所)



▶精密製品の三次元座標測定

▶浄水場の機械点検

P8に掲載

心理 (55人)

児童相談所などにおいて児童、障害者、保護者などに対し「心のケア」の面から相談、指導、心理判定などの業務に従事します。
主な勤務場所 児童相談所、精神保健福祉センター、那須学園、障害者総合相談所



▶子どもへのプレイセラピー

▶児童・保護者との面接

P8に掲載

水産 (15人)

水産業振興のための企画立案や、養殖生産技術、水産資源・生態系保全技術の開発などの試験研究のほか、地域振興につながる水産資源の活用方策などの普及啓発を行います。
主な勤務場所 農村振興課、水産試験場、農業振興事務所



▶県オリジナルブランド魚の開発

▶ドローンによるカワウソコ被害防止対策

P9に掲載

保健師 (127人)

地域のニーズに応じた健康相談、健康教育、各種指導等を企画立案し、実施します。県民の心と身体の健康を守る仕事です。
主な勤務場所 保健福祉課、医療政策課、健康増進課、感染症対策課、健康福祉センター、衛生福祉大学校



▶窓口での個別相談

▶精神保健に関する啓発

P9に掲載

技師 臨床検査 (33人)

健康福祉センターや研究機関において、水質検査や食品検査など公衆衛生に関する検査などを行います。
主な勤務場所 感染症対策課、健康福祉センター、保健環境センター、衛生福祉大学校



▶細菌検査

▶PCR検査

P9に掲載

栄養士 (13人)

健康福祉センター等で、県民の生活習慣病予防や健康増進のための指導、給食施設への栄養管理の指導などを行います。
主な勤務場所 健康増進課、生活衛生課、健康福祉センター



▶給食施設指導

▶健康づくりイベント

P9に掲載

栄養士 (県立学校勤務 2人、小・中学校勤務 76人)

献立作成や調理場の衛生管理、栄養や食に関する指導を行います。学校では、子どもたちの成長をサポートします。※小・中学校等勤務の栄養士は、勤務する学校等の属する市・町の職員になります。
主な勤務場所 県立学校/特別支援学校、定時制高校、小・中学校/市町立の小学校、中学校、義務教育学校、給食センター



▶給食室内での衛生管理

▶教科等における食に関する指導

P9に掲載

職業訓練指導員 (37人)

「ものづくり県とちぎ」の産業を担う実践力を備えた人材の育成を行うため、産業技術専門学校において、就職等に必要な技能・技術の指導や、就職支援等の業務に従事します。
主な勤務場所 労働政策課、産業技術専門学校



▶産業用ロボット実習

▶機械工作実習

P9に掲載

獣医師 (143人)

家畜伝染病対策をはじめとする家畜の保健衛生に関する指導・防疫、試験研究や食肉検査、動物愛護指導、食品衛生指導などの業務を行います。
主な勤務場所 生活衛生課、畜産振興課、健康福祉センター、動物愛護指導センター、食肉衛生検査所、家畜保健衛生所、畜産酪農研究センター



▶病理検査

▶放牧場での衛生検査

P5に掲載

警察行政 (464人(定数))

組織の運営企画、人事、予算管理や交通安全対策のほか、各種犯罪における証拠品の鑑定、システム開発などの専門的な分野から警察組織運営を支え、栃木県の治安を守る重要な役割を担います。
主な勤務場所 警察本部、警察署、運転免許センター、警察学校



▶指紋の鑑定

▶自動車運転の運動能力検査

P5に掲載

事務 小中学校 (529人)

給与事務や各種手当の認定、予算の執行・管理、教育施設の維持・管理などを行います。学校運営を側面から支える仕事です。※小中学校事務職員は、勤務する学校の属する市・町の職員になります。
主な勤務場所 市町立の小学校、中学校、義務教育学校



▶事務室での電話対応

▶備品の相談

職員紹介

ここからは、職種ごとに先輩職員を紹介します。

※組織名は令和4(2022)年度のものです。

災害に強いとちぎづくりを担います

行政

県民生活部危機管理課総務企画担当

●異動経歴●
R3～現所属



Q.現在の担当業務を教えてください。また、職場の雰囲気を教えてください。

県民の防災意識の高揚を図るため、テレビ・ラジオでの広報や防災イベント開催などの普及啓発業務を担当しています。また、県内で災害が発生した場合は、関係機関と連携して情報収集を行うなどの災害対応業務に従事しています。平時は和やかな雰囲気の職場ですが、災害時は一気に緊張感が高まり、気を引き締めて業務に当たっています。

Q.仕事を進める上で心掛けていることや大切にしていることは何ですか。

県庁の業務は、自分一人で完結する仕事は少なく、庁内の各課所や市町、民間企業と連携して仕事をすることが多いです。自分も相手も気持ちよく仕事ができるよう、相手に丁寧に対応し、一緒に仕事をする中で築いた関係を大切にすることを心掛けています。



Q.仕事以外の生活について教えてください。

社会人になってから何か趣味を見つけたいと思い、乗馬を始めました。また、実家で柴犬を3匹飼っているため、暇を見つけては会いに帰っています。仕事を頑張るためにも、休日のリフレッシュは大切だと思います。

県内企業の働きやすい職場づくりをサポートします。

行政(障害者対象選考考査)

産業労働観光部労働政策課
労働経済・福祉担当

●異動経歴●
R3～現所属



Q.現在の担当業務を教えてください。

県内企業の働きやすい職場づくりに関する業務を担当しています。企業が抱える働き方改革についての課題等を解決するための講座の開催に当たって、委託先との連絡調整等を行っています。また、企業だけでなく県民の方への支援として、労働者からの労働条件等に関する幅広い相談対応や、メンタルヘルス相談事業も行っています。

Q.職場環境や職場の雰囲気について教えてください。

私は聴覚に障害を抱えていますが、職場の方は障害への理解があり、電話対応や聞こえづらい時に席を替わっていただく等の配慮をお願いしやすい環境です。人事課には障害者のための相談員が配置されており、何か困ったことがあれば相談しやすい環境でもあります。また、有給休暇が取りやすく、障害のため定期的な通院が必要な私でも無理なく働くことができています。



Q.県職員(障害者選考採用)を目指している方へのメッセージをお願いします。

障害があっても自分に合った仕事があり、県庁にはたくさんあります。これからDX化が進むと、これまで障害が壁となって困難だった仕事でも、できるようになる日が来るかもしれません。自分らしく働きつつ、栃木県を魅力あふれる県にしていきたいです！

「誰かの役に立ちたい」思いを仕事に変える

行政(福祉型)

保健福祉部県北健康福祉センター
生活福祉課

●異動経歴●
R3～現所属



Q.現在の担当業務を教えてください。また、職場の雰囲気を教えてください。

私は現在、生活保護のケースワーカーとして、生活保護を受けている方々の自立に向けた支援を行っています。一言に支援といっても、家庭訪問や面接相談に始まり生活保護費の支給に関する事務まで、業務が多岐に渡ることが特徴です。課員は担当地区こそ違いますが、全員が同じ仕事をしているため、困ったことや分からないことがあれば、お互いに相談し合いながら日々奮闘しています。

Q.仕事を進める上で心掛けていることや大切にしていることは何ですか。

生活保護業務は人の人生に深く立ち入る仕事のため、信頼関係の構築が重要であると考えています。業務に関する知識の習得はもちろんですが、支援を必要としている方々の抱えている問題や思いに誠心誠意寄り添い、支援の過程を同じ歩幅で歩むことを大切にしています。



Q.県職員を目指している方へのメッセージをお願いします。

行政(福祉型)職は、生活保護以外にも児童福祉や高齢者福祉、障害福祉と様々な分野で県民の生活を支える役割を担っており、大きなやりがいがあります。皆さんと一緒に働くことができることを楽しみに待っています！

「人のために働く」を体現できる場所

警察行政

警察本部警務部警務課給与係

●異動経歴●
H23～宇都宮南警察署交通課
H24～警察本部刑事部鑑識課
H29～警察本部警務部警務課
H31～栃木警察署会計課
R4～現所属



Q.現在の担当業務を教えてください。また、職場の雰囲気について教えてください。

職員の退職手当の支給手続きと公務災害の申請手続きを担当しています。退職手当はこれまで治安維持に尽力された方々へ、感謝の気持ちを持って手続きを行っています。公務災害は、公務中や通勤中にケガをした際に、治療費等の不安がないよう補償手続きを行います。警察はチームで物事に対応することが多いので、自然と会話が増え、家族のような一体感があります。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。

鑑識課に所属していた際、犯罪現場の遺留指紋から犯人の指紋を割り出し、事件解決の端緒になることがありました。特殊な仕事でしたが、やりがいと誇りの持てる仕事でした。また、採用業務をしている時は、多くの説明会で、警察職員について説明しましたが、働きがいや魅力がうまく伝わったか、いつも不安でした。しかし、採用した職員と同じ所属になった際に、「あの説明会で受験を決めました」などの言葉もらったときはとても嬉しかったです。警察行政は様々な仕事があり、やりがいを感じられる職種です。



Q.仕事以外の生活について教えてください。

栃木県警察では、職員の働きやすい職場環境作りが進められています。私自身も、本年第一子が産まれたことから、育児休業を取得します。休日は、家族3人で公園を散歩することが夫婦の楽しみです。

栃木の農業の未来のために！農家の皆さんを支えます。

農業

農政部生産振興課
果樹花き担当

異動経歴

H29～

上都賀農業振興事務所
企画振興部企画振興課
振興チーム

H31～

上都賀農業振興事務所
経営普及部経営指導担当

R3～

現所属



Q.現在の担当業務を教えてください。また、職場の雰囲気について教えてください。

花きの生産振興のため、農業者の生産規模拡大や新規参入に伴う農業用ハウスの整備・リフォームの支援、夏の高温で発生する花き品質の低下を防ぐ技術の実証等を行っています。また、花きの消費拡大を図るため、花飾りや高品質な花きの展示等を行うイベント「花と苺のフェスティバル」や「関東東海花の展覧会」の開催、花束や寄せ植え作りを通じて子どもたちに花に触れてもらう花育体験の取組みの支援を行っています。若い職員も多く、エネルギッシュな職場です。

Q.やりがいを感じるのとはどのようなときですか。または県職員の魅力は何ですか。

普及指導員として、農業者と直接やりとりしながら所得向上や地域農業の発展を支援する、新品種や新技術を開発するための試験研究を行う、予算編成や補助事業の執行を行うなど、一口に「農業職」と言っても様々な業務があります。異動を重ねる中で多くの経験を積み、様々な角度からとちぎの農業の発展に携わることができます。

Q.仕事を進める上で心掛けていることや大切にしていることは何ですか。

仕事を進めていく中で、県職員同士はもちろん、国、市町、農業協同組合、農業者など様々な方とやりとりをします。お互いに気持ちよく仕事ができるよう、丁寧なコミュニケーションを心掛けています。また、効果的に業務を進められるよう、何のための業務なのか、目的をその都度確認し、意識しながら取り組むよう心掛けています。

未来のとちぎの畜産を支えます！

Q.現在の担当業務を教えてください。また、職場の雰囲気について教えてください。

乳牛・肉牛・養豚・草地飼料・畜産環境の5つの研究室が実施する試験研究の調整を行っています。また、研究成果を県内へ普及するためのセミナーの開催や、畜産農家等の視察及びインターンシップの受入れも行っていきます。畜産酪農研究センターの職員は、ほとんどが畜産職・獣医師職なので、畜産に関して専門知識を有する職員が多く、身近なところでアドバイスが受けられ、安心して業務に取り組むことができます。

Q.やりがいを感じるのとはどのようなときですか。または県職員の魅力は何ですか。

畜産行政や試験研究、普及指導など様々な業務で畜産農家と関わるようになりますが、どの職場でも自分が一生懸命やったことに対して、畜産農家から感謝されたり、喜んでる姿を見たりしたときにやりがいを感じます。

Q.仕事以外の生活について教えてください。

1時間単位で休暇を取得できるため、平日に妻が仕事のときなどは、保育園への子どもの送迎などに活用しています。

その他にも県庁ソフトテニスクラブに所属し、月1回、汗を流してリフレッシュしています。現在の目標は、年1回開催される関東6県庁の職員対抗の大会での優勝です。

畜産

農政部畜産酪農研究センター
企画情報課

異動経歴

H27～

塩谷南那須農業振興事務所
経営普及部畜産課

H30～

畜産振興課企画経営担当

R3～

現所属



未来へつなぐ、とちぎの林業！

林業

環境森林部林業木材産業課
生産力強化担当

異動経歴

H28～

県西環境森林事務所森林部
森づくり第三課

H31～

現所属



Q.現在の担当業務を教えてください。

林業に関する就業相談会を開催し、就業を希望する方に林業という仕事を知ってもらう機会を提供するなど、林業人材の確保・育成に取り組んでいます。興味を持った方には、チェーンソー使用体験や林業の現場見学を通して、就業後のイメージの想起と定着へ繋げていく取組みを行っています。

また、林業は様々な知識と技術が必要になるため、就業後におけるスキルアップのための研修会等の企画・調整を行っています。

Q.やりがいを感じるのとはどのようなときですか。

就業相談会で関わりを持った方が、実際に林業の現場で元気に働いている姿を見たときに、自分の仕事が誰かの人生を変えるきっかけになったのだと実感し、大きなやりがいを感じました。林業は危険を伴う作業もあるため、安全第一で元気に働いている姿を見るとやりがいとともに、安全確保のための責任も感じます。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。

入庁1年目に、初めて担当した山崩れの復旧工事が印象に残っています。測量や図面作成、現場監督等の対応に四苦八苦しましたが、工事が完了した際には大きな達成感がありました。当時御指導いただいた先輩方にはとても感謝しています。今でも近くを通りかかると現場を見に行ってしまうほど、印象に残っています。

栃木の未来へつなげるインフラを整備します！

総合土木(土木)

県土整備部宇都宮土木事務所
整備部整備第二課

●異動経歴●

- H25～
日光土木事務所整備部
整備第二課
- H28～
大田原土木事務所企画調査部
企画調査課
- H31～
道路保全課計画保全担当
- R4～
現所属



Q.現在の担当業務を教えてください。また、職場の雰囲気について教えてください。
道路の改良や歩道整備、無電柱化のための電線共同溝整備などの計画のほか、工事の発注・監督などを行っています。

事業箇所の調査や現場の立会い、地元住民の方への事業説明などで、事務所の外に出る機会が非常に多いです。
職場の雰囲気はとても和やかで、業務を進める上で「困った！」や「あれ？」と思うことがあればすぐに声を上げて、皆で考え教え合えるような環境です。

Q.やりがいを感じるのとはどのようなときですか。または県職員の魅力は何ですか。
監督した工事が完成したり、策定した計画が公表となったりと、仕事の成果が目に見える形で現れるときです。図面上でイメージしていたものが完成し、実際に県民の皆様に利用いただいている様子を目にしたとき、最もやりがいを感じます。

また、仕事の成果が地図に残るのも、土木職の魅力の一つだと思います。

Q.民間で働く場合と仕事の違いはありますか。
公益のための仕事というのが、民間との一番の違いだと思います。利便性や安全性の向上のため、いかに交通網を整備するか、整備した道路や橋などのインフラをいかに長く維持するか、洪水や土砂災害の被害をいかに防ぐかなど、公務員として働く上では、県民の皆様の生活基盤や命を守るという使命感が必要になると思います。

栃木の農業における生産基盤を整備します！

Q.現在の担当業務を教えてください。また、職場の雰囲気について教えてください。

農業用水を農地に供給する「堰」の改修工事を担当しています。堰とは、河川から水を引入れる際に設けられる取水施設で、農業を行う上で重要な施設になります。業務では、建設会社との現場立会い、関係機関との協議、工事費の積算などを行っています。職場は仕事で悩んでいることがあれば、気軽に相談でき、風通しが良く明るい雰囲気です。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。

令和元年度東日本台風の災害対応業務です。県内でも数多くの農地・農業用施設が被災し、復旧のための現地での測量や、復旧に向けた図面の作成等を行いました。災害の際は被災農家が1日でも早く営農を再開できるよう、速やかに復旧を行う必要があります。今後も大規模災害が発生した際は、迅速かつ的確に対応したいと思っています。

Q.仕事を進める上で心掛けていることや大切にしていることは何ですか。

公共事業を実施するに当たっては、税金を財源に、多額の費用を要します。このため、事業を行う際は、事業の必要性・妥当性を判断し、業務を行っています。また、工事を行う際は、利用者の視点に立ち、利用者が使いやすい環境を整備するよう心掛けています。

総合土木(農業土木)

農政部下都賀農業振興事務所
農村整備部整備第二課

●異動経歴●

- H26～
芳賀農業振興事務所
農村整備部調査保全課
- H29～
農地整備課圃場整備担当
- R2～
塩谷南那須農業振興事務所
農村整備部整備課
- R4～ 現所属



幅広い視点で建築に携われます！

建築

県土整備部建築課
企画営繕担当

●異動経歴●

- H26～
建築課建築第二担当
- H28～
総合スポーツゾーン整備室
整備推進担当
- H31～
管財課財産活用推進室
財産活用チーム
- R4～
現所属



Q.現在の担当業務を教えてください。また、職場の雰囲気について教えてください。

県が所有する建築物について、様々な部署から提起される設計や工事の相談に対応しています。相談内容には、「建替えをしたい」「雨漏りを止めたい」「施設を壊したい」など様々なものがあり、解決策を検討し、スケジュールや経費等を整理しながら業務を進めています。周りの先輩職員は経験豊富で相談しやすく、とても和やかで仕事のしやすい環境です。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。

総合スポーツゾーン整備室での経験が印象的です。栃木県総合運動公園において「県民に愛され、県民が誇れる、県民総スポーツの推進拠点」を整備するため、工事等の監理に加え、関係部署や市、関係団体や地元自治会などの様々な人々との協議・調整など、多くの業務を経験することができました。この経験が、現在の業務にも活かされています。

Q.仕事を進める上で心掛けていることや大切にしていることは何ですか。

目的を確認しながら業務を進めることを大切にしています。建築物を作る過程では、設計や工事、維持管理、関係法令、まちづくり、経費、材料、環境負荷など多くのことが複雑に絡み、また関係者も増えるため、その建築物を作る目的が霞んでしまうこともあります。そのようなときは、一旦立ち止まり、仕事を進める上で世の中が求めていることや、利用する人・管理する人が求めていることを思い出し、目的を再確認しながら業務を進めています。

電気を通して県民のライフラインを支えます！

電気

県土整備部建築課
建築第一担当

●異動経歴●

H29～
企業局鬼怒水道事務所施設課
H31～
鬼怒水道事務所管理課
R2～
建築課電気設備担当
R3～
現所属



Q.現在の担当業務を教えてください。また、職場の雰囲気について教えてください。

県有施設の新築・改修工事の設計・工事監督業務を行っています。課内の建築職・機械職の職員と一緒に、建築物の設計・工事を進めています。年齢が近い人も多く、分からないことがあっても気軽に聞きやすく、働きやすい職場です。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。

鬼怒水道事務所は、「水」というライフラインを担う施設ですが、水道事業のために取水している河川の上流で、油流出事故が発生したことがあります。緊急事態のため夜間作業で対応に当たったときは大変でしたが、給水を止めることなく運用できたため、大きな達成感を味わうことができたことが印象に残っています。

Q.民間で働く場合と仕事の違いはありますか。

一口に電気職と言っても、電気事業・水道事業・建築工事など、定期人事異動で様々な分野の業務を経験できることが民間との違いであり、魅力の一つだと思います。

様々な職場を経験できるので、幅広い知識が身に付き、自身のスキルアップをしていくことができます。

県内のものづくり企業の技術力向上を支援します！

Q.現在の担当業務を教えてください。また、職場の雰囲気について教えてください。

県内のものづくり企業に対して技術支援を行う産業技術センターで、企画調整の仕事をしています。企業からの技術相談や補助金申請の相談を受ける窓口業務、企業や大学など外部と連携する際の調整、センター全体の業務実績のまとめ、メールニュースによる情報発信などを行っています。

他部署の職員と相談しながら仕事を進めていくことが多いのですが、分からないことは丁寧に教えてくれ、お願いごとにも前向きに引き受けてくれるなど、雰囲気の良い職場です。

Q.これまでどのような業務を経験しましたか。

産業技術センターの機械電子技術部で、試験研究業務に従事していました。企業から新製品開発や品質管理に関する技術的な相談を受け、CTスキャンによる機械などの内部検査や寸法測定などの依頼試験に対応したり、当センターの試験機器を企業に開放したりするなど、企業支援を行っていました。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。

機械電子技術部に所属していたときに、企業、大学との共同研究に参加したことです。異なる立場の方々と共同で、それぞれの強みとする技術を持ち寄って進めていくというのは、苦労もありましたが良い経験となり、大きな達成感を味わうことができました。

機械

産業労働観光部
産業技術センター技術交流部

●異動経歴●

H26～
産業技術センター
機械電子技術部
R2～
現所属



現場でもデスクでも、理系の力で環境を守る！

化学

環境森林部気候変動対策課
カーボンニュートラル推進担当

●異動経歴●

H29～
県北環境森林事務所
環境対策課公害対策ユニット
H31～
環境保全課水環境担当
R4～
現所属



Q.現在の担当業務を教えてください。また、職場の雰囲気について教えてください。

カーボンニュートラル実現を目指す施策のうち、省エネ設備導入に関する事業者向けの補助事業を担当しています。また、法改正で新しくできた再エネ関係の制度運用を担当し、方針検討のための情報収集・資料の作成・関係者への説明と意見照会等を行っています。

カーボンニュートラルは今注目の課題であり、迅速に幅広い取組みを求められる忙しい職場ですが、共通の目標を持ち、意見を出し合いより良いものを目指す、充実した職場です。

Q.やりがいを感じるのとはどのようなときですか。または県職員の魅力は何ですか。

県職員は様々な業務を経験できます。現在の所属では、世界的な課題として注目される気候変動対策として、施策の策定に向けた検討や新制度の運営に携わっています。前所属では、法に基づき40年以上行われてきた水質調査を着実に実施しました。事務所では、主に現場での調査や事業者指導に従事しました。幅広く県民に貢献でき、自分の経験も豊かになります。

Q.仕事以外の生活について教えてください。

県庁職員による吹奏楽団に所属し、クラリネットを演奏しています。また、最近ずっと憧れていたテナーサックスの教室に通いはじめました。いずれも練習は平日ですが、やむなく残業するとき以外は仕事を切上げ、息抜きに音楽を奏でています。

検査・研究・指導を通して栃木の畜産を守ります！

獣医師

農政部県中央畜保健衛生所
家畜保健部防疫第一課

●異動経歴●

H27～
県北家畜保健衛生所防疫課
H30～
県中央畜保健衛生所
家畜衛生研究部微生物研究室
R4～
現所属



Q.現在の担当業務を教えてください。また、職場の雰囲気について教えてください。
養豚の飼養衛生管理に関する畜産農家への指導のほか、豚熱ワクチン接種に関する業務を担当しています。非常に風通しが良い職場で、上司や同僚と話し合いながら業務上の問題点を解決する場面が多くあります。また、獣医師が多く在籍しており、専門用語が飛び交うことも多いのが特徴です。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。
豚熱など、特定家畜伝染病発生時の防疫対応業務です。県の関係機関のみではなく、市町や関係団体など、県職員以外の方と事前に発生時を想定した演習を行っていましたが、実際に発生した際は、突然の発生にも関わらず、県職員以外の方にも御協力をいただき、スムーズに対応できました。引き続き、様々な機関と連携を取りながら、家畜伝染病の発生予防対策に取り組んでいきたいと思っています。

Q.民間で働く場合と仕事の違いはありますか。
民間の場合、動物病院などで臨床獣医師として「動物」のために働くことが多いと思いますが、公務員の場合、動物だけではなく、家畜の飼養者やその先の生産物を食べる「人」のために働くことが大きな違いかと思います。また、検査・研究・指導・許認可など、様々な業務を経験できるため、幅広い分野で活躍したい方におすすめです。

栃木県の公衆衛生を担うGeneralist

Q.現在の担当業務を教えてください。また、職場の雰囲気について教えてください。

医薬品、医療機器、医薬部外品、化粧品の製造所への立入検査を行っています。特に栃木県の医薬品と医療機器の生産金額は、全国第2位(令和2年現在)であり、栃木県で製造された医薬品等は多くの患者さんに使用されています。私たちは、それらの医薬品等が適切に製造されているかどうかを調査しています。

また、職場では仕事の相談だけでなく、子育てに関する悩みなども相談することができ、とても和やかな雰囲気です。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。

平成30年から2年間、PMDAに派遣されていました。PMDAでは、日本だけでなく、インドや中国など、海外の医薬品製造所に対して監視指導を行い、日本に輸入される医薬品の原料(原薬)が適正に製造されているか調査していました。PMDAでの経験は、栃木県での監視指導に役立っています。

Q.仕事以外の生活について教えてください。

県では男性職員の育休など、仕事と子育ての両立を推進しており、私も第三子が生まれた際に育休を取得しました。日々、成長する息子の姿を身近に感じられ、とても有意義な時間を過ごすことができました。また、新生児期の子育ての大変さを経験し、妻への感謝の気持ちがより一層強くなりました。



薬剤師

保健福祉部薬務課
薬事審査担当審査監視チーム

●異動経歴●

H25～
安足健康福祉センター生活衛生課
H28～
薬務課薬事審査担当審査監視チーム
H30～
独立行政法人医薬品医療機器
総合機構(PMDA)へ派遣
R2～
現所属



地域のみなさんの健康をプロデュースします。

保健師

保健福祉部
県西健康福祉センター
健康支援課

●異動経歴●

H27～
安足健康福祉センター健康対策課
H30～
医療政策課看護職員育成担当
H31～
保健福祉課地域保健担当
R3～
現所属



Q.現在の担当業務を教えてください。また、職場の雰囲気について教えてください。
主に精神保健を担当しており、心の病気や治療について、電話や訪問で相談を受けています。精神障害を抱える患者さんが退院する際、地域での生活にスムーズに戻れるように、支援チームを作ったり、患者さんの御家族向けに、心の病気についての勉強会を開催したりしています。職場は穏やかな雰囲気です。相談もしやすく、同僚と協力しながら日々の業務に取り組んでいます。

Q.これまでどのような業務を経験しましたか。

安足健康福祉センターでは、結核患者さんの服薬支援や接触者の健康診断、性感染症検査の業務を担当していました。本庁では、地域保健福祉職員のスキルアップのための研修や学会の開催、災害時の対応をまとめたマニュアルの改定を行いました。新型コロナウイルスの対応も、健康福祉センター職員総出で行いました。

Q.仕事以外の生活について教えてください。

休日には、映画や読書を楽しんでいます。美味しい物が大好きなので、お気に入りのカフェを巡ったり、栃木のいちごを食べたりして、リフレッシュしています。

令和5(2023)年度に変更する主な試験を紹介します

NEW!!

大学卒業程度(特別枠)試験〔行政・総合土木〕

NEW これまで募集していた行政職に加え、令和5(2023)年度より総合土木職の試験を開始します。

ポイント1/ 専門試験なし

第1次試験は基礎能力検査と論文試験を実施します。専門試験はありませんので、民間企業を志望している方も受験がしやすい試験です。

※総合土木職については、第2次試験で専門分野について質疑応答を行うプレゼンテーション面接を実施します。

ポイント2/ 早期に合格決定

最終合格発表は通常の大卒程度試験より2か月半早い6月上旬です。

また、6月に実施する通常の大学卒業程度試験と併願が可能です。

詳細はこちら



産業事故の未然防止により、くらしと経済を支えます!

行政

産業労働観光部
工業振興課保安担当

異動経歴 R4~ 現所属

Q.採用試験のハードルはどのように感じましたか。

私は民間企業と栃木県庁を併願していましたが、基礎能力検査が民間企業の採用試験と非常に近いものであり、専門試験もなかったため、負担は重すぎず、余裕を持って試験に臨むことができました。そのため、口述試験の対策にも時間を割くことができ、試験本番では「栃木県庁で働きたい!!」という気持ちを試験員に対して精一杯伝えることができました。また、試験日程が通常の公務員試験よりも早いので、就職活動を早く終わることができました。

Q.県職員を目指している方へのメッセージをお願いします。

県職員の業務は目立つものばかりではないですが、どこかで誰かの役に立っている仕事ばかりです。皆さんと一緒に、栃木県のために仕事ができることを楽しみにしています!!



NEW!!

社会人対象採用試験〔行政・林業・総合土木・保健師〕

NEW これまで募集していた行政職・林業職・総合土木職に加え、令和5(2023)年度より保健師の試験を開始します。

ポイント1/ 専門試験なし

いずれの職種も社会人経験等を重視しますので、第1次試験での専門試験はありません。

なお、林業職・総合土木職・保健師については、各職種に応じた専門性を確認する面接試験を第2次試験で実施します。

ポイント2/ 受験可能年齢の引上げ

林業・総合土木・保健師については、現在の受験可能年齢が60歳未満(令和5(2023)年度)に引上げとなります。

なお、各職種に係る3年以上の職務経験が必要となります。

詳細はこちら



当たり前の暮らしを作り、大切に守り続けることができる仕事

総合土木(土木)

県土整備部道路保全課
計画保全担当

異動経歴 H29~ 大田原土木事務所 保全部 保全第一課
R2~ 現所属

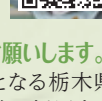
Q.採用試験のハードルはどのように感じましたか。

関西地方出身で、移住(Iターン)を前提とした受験のため、移動は大変でしたが、第1次試験は教養試験と論文試験のみであったことから、プライベートの時間を割いて専門試験対策を行う必要がなく、受験へのハードルは他自治体よりも低く感じました。

社会人対象採用試験であることから、第2次試験の口述試験では筆記での専門試験に比べ、土木行政での実務上必要不可欠な知識を問う質問が多くあり、土木行政を行う上で必要な能力を的確に試験していただいた印象です。

Q.社会人対象採用試験の受験者へのメッセージをお願いします。

当初は、Iターンである自分にとっては新天地となる栃木県での勤務は不安で戸惑いましたが、社会人対象試験の採用者をはじめ、転職を経験した職員が意外にも多く、とても安心しました。また、県外出身者も多く、とても働きやすい組織です。皆さんもこれまでの経験を生かし、栃木県のために一緒に働きましょう。





ワーク・ライフ・バランスの推進

栃木県では、全ての職員が仕事と生活の両方を充実させる「ワーク・ライフ・バランス」を実現し、能力を最大限発揮できる職場環境づくりに取り組んでいます。



時差出勤、休日・休暇、テレワーク

勤務は原則として、午前8時30分から午後5時15分までです。ワーク・ライフ・バランスの確保や通勤混雑の緩和、環境負荷の低減等を目的として、一部の職場を除き、時差出勤（午前7時から午前10時までの間で30分毎に勤務開始時間を変更した勤務パターン）を選択することもできます。

完全週休2日制となっており、一部の施設等に勤務する職員等を除き土曜日と日曜日は週休日となっています。

年次休暇（有給休暇）は年度ごとに20日が付与されます。このほかにも夏季休暇、結婚休暇、産前・産後休暇等の特別休暇や、介護休暇・育児休業制度等があります。

また、場所にとられない柔軟な働き方として、業務内容に応じテレワーク（自宅やサテライトオフィスでの勤務）の実施を推進しています。



福利厚生

地方職員共済組合が、短期給付（健康保険）と長期給付（年金）のほか、次のような事業を実施しています。

・健康管理事業

定期健康診断、人間ドック、婦人科検診、心の健康相談、歯の健康相談、健康教室などを実施しています。

・元気回復事業

各種スポーツ大会、各種レクリエーション事業、サークル運営助成などを行っています。

・貸付事業

住宅貸付（住宅購入等）、普通貸付（生活用品の購入等）、災害貸付（災害復旧）、特別貸付（入学、結婚、葬祭等）などの資金の貸付を行っています。

公務災害に認定された場合には、様々な補償が受けられます。

また、宇都宮市内に職員住宅があり、世帯・単身を問わず、入居が可能です。



ソフトボール大会



観光施設入場券配布事業

仕事と子育て両立中!

保健福祉部食肉衛生検査所兼感染症対策課 新型コロナ対策推進担当

●異動経歴●

H22～ 安足健康福祉センター生活衛生課 R2～ 食肉衛生検査所検査第二課
H25～ 生活衛生課衛生・水道担当 R2～ 健康増進課兼務（12月～）
H28～ 保健福祉課企画調整担当 R3～ 現所属



ある1日のタイムテーブル

6:00 起床・朝食準備・登園登校準備	18:00 帰宅・夕食準備
7:10 長男登校（旗振り）	20:30 入浴
7:30 長女保育園送り・出勤	21:30 寝かしつけ
9:00 登庁	22:00 翌日準備
16:30 学童・保育園迎え（時間休）	24:00 就寝

Q. 育児休業を取得しようとしたきっかけを教えてください。

また、育児休業を取ることに對して、職場の雰囲気はどうでしたか？

1人目（長男）の時は妻の出産休暇を2日ほど取得したのみで、家事や育児のほとんどが妻にお任せとなってしまったので、2人目が生まれる時は長期の育児休業を取得すると決めていました。職場に意向を伝えたところ、上司には快く後押ししていただき、担当内での共有や事務の引継ぎなど、チームとしてサポートしていただいたことは感謝がありません。私自身も、そういう先輩・上司でありたいと強く思いました。

Q. 利用した休暇と復帰後の状況、育児休業制度等を取った感想を教えてください。

また、復帰はスムーズにできましたか？

1人目の時は妻の出産休暇を2日、2人目の時は妻の出産休暇に加え育児休業を10か月取得しました。家事や育児に関わることで、子どもの成長を間近で感じることができ、同時に自分自身も成長することができたと感じています。私の場合、育児休業からの復帰後の業務分担に配慮いただくなど、復帰してからも違和感なく業務に当たることができました。

Q. 県職員を目指している方へのメッセージをお願いします。

家庭も仕事も一人でできることばかりではありません。支えてくれる家族や協力してくれる上司・同僚に頼り、頼られながら歩むことで、人として成長し充実した人生を送ることができると思います。支え合いながら共に成長していく仲間が増えることを楽しみに待っています。



仕事と子育ての両立支援

栃木県では、男性職員も女性職員も、職員一人ひとりが仕事にも子育てにも喜びが見いだせる職場、互いに支援し合える職場、誰もが生き生きと働ける職場を目指し、仕事と子育ての両立を支援する制度の充実を図っています。

●子育てを応援する休暇制度等

主な制度等	男性	女性	内容・利用期間等	産前8週	出産	産後2週	産後8週	1歳	2歳	3歳	小学校就学	小学校4年生	中学校就学
出産休暇(産前産後休暇)		○	産前8週間、産後8週間	■	■	■	■						
妻の出産時の休暇	○		入院等の日から出産の日後2週間以内に3日の範囲内 時間単位の取得も可能		■								
妻の出産時の子の養育休暇	○		出産予定日の8週間前から出産の日以後1年の間で5日の範囲内 時間単位の取得も可能		■	■	■						
育児休業	○	○	子が3歳に達する日まで			■	■	■	■	■			
育児のための部分休業	○	○	小学校就学前の子どもを養育する場合： 1日を通じて2時間を超えない範囲内								■	■	
育児短時間勤務	○	○	小学校就学前の子どもを養育する場合： 希望する日及び時間帯において短時間勤務することが可能								■	■	
育児時間休暇	○	○	2歳未満の子どもを養育する場合： 1日2回を超えず合計90分の範囲内					■	■	■			
子の看護休暇	○	○	中学校就学前の子を看護する場合： 5日の範囲内(小学校就学前の子が複数いる場合は10日) 時間単位の取得も可能								■	■	
フレックスタイム制	○	○	小学校4年生までの子どもを養育する場合： 所定の期間内における1週間当たりの勤務時間が38時間 45分となるように1日の勤務時間を割り振ることが可能								■	■	

●育児休業等取得状況 ※教育委員会、警察本部を除く

(1) 育児休業取得率

	令和3(2021)年度	令和2(2020)年度
男性職員	36.8%	30.5%
女性職員	100.0%	100.0%

(2) 男性職員の子育て目的の休暇取得率

	令和3(2021)年度	令和2(2020)年度
妻の出産時の休暇	91.6%	91.5%
妻の出産時の子の養育休暇	63.2%	62.2%

ワーク・ライフ・バランス実践中!

農政部河内農業振興事務所
農村整備部整備課調査保全チーム

●異動経歴●
R2～現所属



Q.仕事と趣味(陸上競技)をうまく両立させているそうですね。詳しく教えてください。

小学校から大学まで陸上競技を続けており、「社会に出てからも陸上競技は続けたい!」と思っていました。入庁してからは100mハードルと走幅跳を専門に、楽しみながら競技を続けています。練習は、主に勤務後や休日に行っており、時々、大学生の練習に混ぜてもらっています。社会に出てからも誰かと一緒に練習できる環境があることは、とても幸せなことだと感じています。

Q.仕事とプライベートの両立を図る上で、栃木県庁はどのような職場だと思いますか。

私は、陸上競技の他に学会への投稿論文も執筆していたので、勤務後に練習時間と自由時間の両方を取ることが魅力的な点だと思っています。1日の中で、仕事以外に様々なことができる時間があるということは、この先の人生を豊かにするのではないかと感じています。

Q.県職員を目指している方へのメッセージをお願いします。

自分の生活の中で「何を大切にするのか」は人それぞれで、年齢によっても異なってくるとおもいます。栃木県庁という職場は、仕事に励みながら「自分にとって大切なもの」に時間を費やせる場だと感じています。栃木県庁で「自分にとって大切なもの」を大事にしながら、この先の人生を歩んでみませんか?

ある1日のタイムテーブル

6:50 起床	18:00 練習開始
7:00 朝食・出勤準備	19:30 練習終了
7:45 出勤(自転車)	20:00 夕飯
8:30 勤務開始	20:30 自由時間
17:30 退庁(自転車)	24:00 就寝



Q1 給与について教えてください。

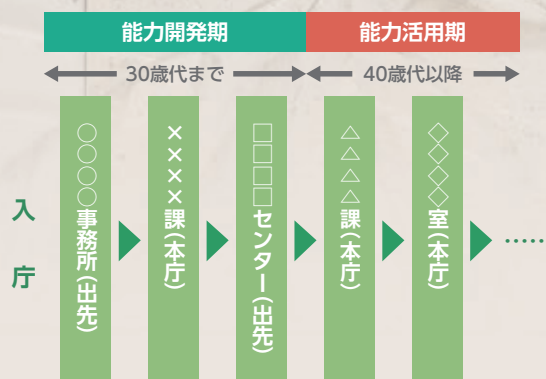
A 初任給は右の表のとおりとなっています。(令和5年2月現在。地域手当3.5%を含む)
勤務経験がある場合や、大学院を修了している場合には、一定の基準により加算されます。
家族構成や勤務状況等に応じて、扶養手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当などが支給されます。また、民間のボーナスに当たるものとして期末・勤労手当が6月と12月の2回、合計で4.40か月分が支給されます(在職期間等によって異なります。)
原則として年に1回、勤務成績等に応じて昇給があります。

修士課程 修了者	研究職	234,738円
	医療職(2)	217,764円
6年制大学卒	医療職(2)	224,181円
	行政職	198,409円
4年制 大学卒	研究職	216,108円
	医療職(2)	204,723円
短大卒 高校卒	行政職	175,743円
	行政職	164,461円

研究職は、試験場、研究所等勤務で、試験研究又は調査研究業務に従事する化学、農業、林業等に、医療職(2)は、病院、保健所等に勤務する薬剤師、栄養士、臨床検査技師等に適用。
就職氷河期世代対象採用試験及び障害者を対象とする採用選考考査での採用者の初任給は、高校卒を基本として、職歴や学歴等を考慮の上、決定されます。

Q2 人事異動はどのように行われますか。

A 職種により違いはありますが、行政職の場合、おおよそ3~4年のサイクルで異動があります。
能力開発期では、幅広い能力開発や自己の適性が発見できるよう本庁・出先機関で異なる分野を経験します。能力活用期では、それまでの勤務経験や本人の意欲、適性等を重視した配置となります。
また、配属先は、職種(行政職・技術職)や能力、適性、意欲のほか、通勤事情なども考慮して決定されます。異動に当たっては、毎年1回希望する職場や職務内容について所属長と面談する制度を設けています。自分のキャリアプランについてアドバイスを受けるとともに、異動の希望を申告することができます。



Q3 研修制度について教えてください。

A **■ 研修所研修**
採用時や採用3年目などに行う基本研修、昇任前に行う能力開発研修、新たに管理的役職に就いた職員などを対象に行う重点研修、職務に必要なスキルなどを学ぶ特別研修など、様々な研修を実施しています。
新採用職員研修では、県職員としての基本的な知識・スキルを習得するとともに、グループワークなどにより、同期入庁者との絆を深めることができます。



新採用職員研修

■ 自己啓発支援

県行政に関する事項について自主的に研究を行う職員グループに対し、一部助成金の支援を行っています。また、指定通信教育機関の講座を割引で受講できる制度や、自治大学校のオンライン講座を受講できるe-ラーニング研修が用意されています。

■ 派遣研修

中央省庁における政策形成や民間企業の経営感覚に基づく事業展開など、県庁では経験できない業務に従事することで、能力の開発を図るものです。
いずれも公募制で参加希望者を募集しています。

<令和4(2022)年度における職員の主な派遣先>

内閣府、総務省、外務省、厚生労働省、農林水産省、林野庁、経済産業省、国土交通省、環境省、県内11市町(株)足利銀行、日産自動車(株)、(株)JT B、NTT東日本(株)、(一財)自治体国際化協会、(一財)地域活性化センター

■ 職場研修

いわゆるOJTです。新採用職員は配属された職場で指導担当(メンター)等のフォローアップを受けながら事務処理等のスキルを身につけていきます。また、県は所管する法令や制度などが多岐にわたっているため、配属された各部局等において、それぞれ必要な研修を実施しています。

派遣研修 体験者の感想

民間企業派遣

担当プロジェクト以外でも、デジタル技術の様々な活用例に触れることができました。日本社会全体のDXが渴望される中、県職員としてあらゆる分野の仕事を進める上で、有益な情報を多く得ることができたと感じています。

中央省庁派遣

国に出向し、様々な省庁や自治体との調整を通じて得た経験は、国の制度を学ぶことはもちろん、全国の様々な自治体の事例に触れることができ、県に戻って事業立案をする場面等で生かされている。

市町村派遣

市民との距離が近く、広報・窓口での取組みや給付決定等に対し、反応が早く返ってくるを感じた。また、県で仕事をする上で、市町との連携は必須。県の役割として、市町が動きやすくなるような仕事をしてほしいとよく言われた。

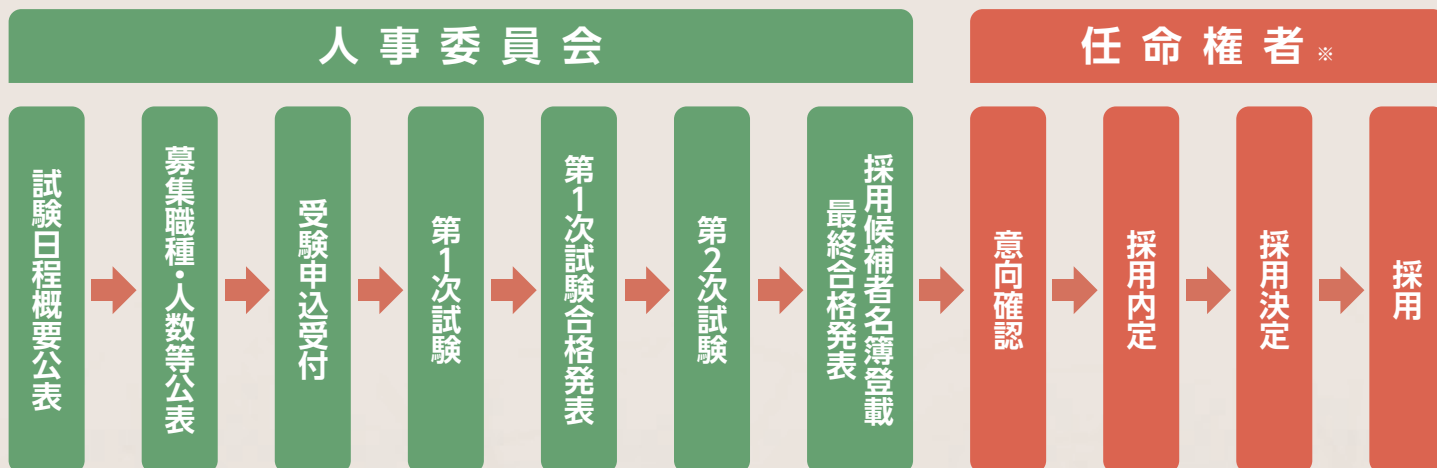
採用情報

● 試験日程・種目

試験区分※1		実施予定時期※2		第1次試験			第2次試験	
		第1次試験	最終合格	教養試験	専門試験	論文試験	論作文試験※3	口述試験※4
大学卒業程度	特別枠	4月9日	6月8日	●		●		●
	通常枠	6月18日	8月18日	●	●		●	●
高校卒業程度		9月24日	10月下旬	●	● (一部職種のみ)		●	●
社会人対象		9月17日	12月上旬	●		●		●
障害者を対象とする選考考査		10月22日	12月上旬	●			●	●

- ※1 記載の試験区分は代表的なものです。このほかにも試験や選考を実施しています。
○○卒業程度とは、試験問題の難易度を示しているもので、年齢などの受験資格を満たしている方は、原則学歴に関係なく受験できます。
- ※2 **令和5(2023)年1月現在の予定であるため、詳細な日程については、必ず各受験案内等で確認してください。**
- ※3 論作文試験は第1次試験日に実施しますが、採点は第2次試験で行います。
- ※4 口述試験は試験区分によって回数異なります。

● 採用までの流れ 基本的な採用までの流れは以下のとおりです。



※ 任命権者とは、知事、教育委員会、警察本部長などです。具体的な採用に関する事務は、各任命権者の採用事務担当課が行います。

● 試験等に関する情報

ホームページ

・採用試験に関する情報や、県職員の業務内容・職員紹介などを掲載
(本冊子で紹介した職員のメッセージを詳しく掲載!)



栃木県職員採用

検索



ツイッター・フェイスブック・インスタグラム

・採用試験や説明会などの情報や県職員の業務内容などを
タイムリーに発信!



Twitter



Facebook



Instagram

栃木県職員等過去5年間の募集状況

(平成30(2018)～令和4(2022)年度)



詳細はこちら

[大学卒業程度]

職種	H30年度(2018)	R元年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
行政(特別枠)	—	10名程度	20名程度	20名程度	20名程度
行政	70名程度	50名程度※	40名程度	45名程度	35名程度
行政(福祉型)	—	—	10名程度	10名程度	5名程度
薬剤師	1~2名	3名程度	3名程度	5名程度	5名程度
薬剤師(2回目)	—	—	—	—	3名程度
化学	5名程度	5名程度	5名程度	1~2名	5名程度
農業	10名程度	10名程度	20名程度	10名程度	13名程度
畜産	2名	3名程度	5名程度	8名程度	8名程度
林業	5名程度	3名程度	8名程度	8名程度	13名程度
林業(2回目)	—	—	—	—	9名程度
総合土木	20名程度	15名程度	35名程度	35名程度	26名程度
総合土木(2回目)	—	—	5名程度	15名程度	4名程度
建築	2名	5名程度	3名程度	3名程度	4名程度
建築(2回目)	—	—	—	—	2名程度
電気	2名	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度
電気(2回目)	—	—	—	—	3名程度
機械	—	3名程度	5名程度	6名程度	4名程度
心理	2名	3名程度	10名程度	8名程度	5名程度
警察行政	8名程度	9名程度	5名程度	15名程度	7名程度
小中学校事務	20名程度	15名程度	15名程度	10名程度	3名程度

※福祉型を含む

[高校卒業程度]

職種	H30年度(2018)	R元年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
行政	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度
総合土木	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度
建築(警察本部)	—	—	—	—	1名
電気	—	—	1~2名	1~2名	1~2名
警察行政	6名程度	3名程度	3名程度	5名程度	3名程度
小中学校事務	4名程度	4名程度	5名程度	3名程度	1名

[資格・免許職]

職種	H30年度(2018)	R元年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
保健師	3名程度	5名程度	5名程度	10名程度	12名程度
保健師(2回目)	—	—	—	—	2名程度
管理栄養士	—	—	—	—	1名
栄養士(県立学校)	—	1~2名	1~2名	1名	1名
栄養士(小中学校)	6名程度	12名程度	1~2名	5名程度	1名

[社会人対象]

職種	H30年度(2018)	R元年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
行政	5名程度	5名程度	15名程度	15名程度	10名程度
林業	—	—	—	—	1~2名
総合土木	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度

[選考考査]

職種	H30年度(2018)	R元年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
歯科衛生士	1~2名	—	1名	—	1名
精神保健福祉士	1~2名	1名	1名	—	—
職業訓練指導員(電気系)	1名	—	—	—	—
職業訓練指導員(機械系)	—	—	—	2名	1名
獣医師	2名	5名程度	10名程度	10名程度	— ※1
獣医師(2回目)	—	—	8名程度	5名程度	—
学芸員(版画)	—	—	1名	—	—
学芸員(油彩画)	—	—	—	1名	—
学芸員(考古)	—	—	—	—	1名
繊維工業技術者	—	—	—	1名	1名
博物館資料専門員(菌類・蕨類)	—	—	1名	—	—
犯罪鑑識技術者(法医)	1~2名	—	1~2名	1名	—
犯罪鑑識技術者(物理)	—	—	—	1名	1名
犯罪鑑識技術者(心理)	1~2名	1~2名	—	1名	—
少年補導職員	—	—	—	1名	3名程度
警察情報処理技術者	1~2名	—	1名	—	—
行政(障害者対象)※2	3名程度	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度
警察行政(障害者対象)※2	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名
小中学校事務(障害者対象)※2	1~2名	5名程度	5名程度	1~2名	1~2名

※1 令和4(2022)年度より、獣医師の選考考査は所管部局が別途実施している。

※2 対象となる障害種別 H30(2018)年度以前:身体障害者 R元(2019)年度~:身体障害者、知的障害者、精神障害者

この表に記載のない次の職種については、担当課にお問い合わせください。

●看護師、児童自立支援専門員 栃木県保健福祉部保健福祉課 TEL 028-623-3088

令和4(2022)年度栃木県職員等採用試験・選考考査実施状況

[大学卒業程度]

職種	申込者数(人)	受験者数(人)	第1次合格者数(人)	最終合格者数(人)	最終倍率(倍)
行政(特別枠)	636	518	80	33	15.7
行政	382	233	104	49	4.8
行政(福祉型)	17	13	8	5	2.6
薬剤師	8	5	4	4	1.3
薬剤師(2回目)	2	2	2	2	1.0
化学	18	10	7	4	2.5
農業	50	40	34	16	2.5
畜産	19	14	9	7	2.0
林業	25	11	4	4	2.8
林業(2回目)	18	13	7	5	2.6
総合土木	41	28	24	22	1.3
総合土木(2回目)	14	9	6	4	2.3
建築	11	5	3	2	2.5
建築(2回目)	7	6	4	4	1.5
電気	12	7	4	2	3.5
電気(2回目)	10	6	4	3	2.0
機械	10	8	8	6	1.3
心理	14	11	6	5	2.2
警察行政	48	37	13	5	7.4
小中学校事務	98	61	10	4	15.3

[高校卒業程度]

職種	申込者数(人)	受験者数(人)	第1次合格者数(人)	最終合格者数(人)	最終倍率(倍)
行政	79	72	15	6	12.0
総合土木	10	8	6	5	1.6
建築(警察本部)	1	1	1	0	—
電気	4	3	1	1	3.0
警察行政	37	35	10	7	5.0
小中学校事務	15	11	5	1	11.0

[資格・免許職]

職種	申込者数(人)	受験者数(人)	第1次合格者数(人)	最終合格者数(人)	最終倍率(倍)
保健師	27	21	18	12	1.8
保健師(2回目)	19	15	8	2	7.5
管理栄養士	37	26	9	5	5.2
栄養士(県立学校)	4	3	2	1	3.0
栄養士(小中学校)	29	25	5	1	25.0

[社会人対象]

職種	申込者数(人)	受験者数(人)	第1次合格者数(人)	最終合格者数(人)	最終倍率(倍)
行政	179	139	31	14	9.9
林業	7	7	5	3	2.3
総合土木	10	7	6	2	3.5

[選考考査]

職種	申込者数(人)	受験者数(人)	第1次合格者数(人)	最終合格者数(人)	最終倍率(倍)
歯科衛生士	6	4	4	2	2.0
職業訓練指導員(機械系)	1	0	—	—	—
学芸員(考古)	9	9	5	2	4.5
繊維工業技術者	8	7	5	2	3.5
犯罪鑑識技術者(物理)	8	4	2	1	4.0
少年補導職員	9	6	3	1	6.0
行政(障害者対象)	32	25	20	3	8.3
警察行政(障害者対象)	11	10	6	0	—
小中学校事務(障害者対象)	19	12	10	0	—

問い合わせ先

栃木県人事委員会事務局

〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20 南館1階
TEL 028-623-3313 FAX 028-623-3318
e-mail jinjiin@pref.tochigi.lg.jp